

ウクライナの子どもたちに、尊厳と心の居場所を
— 戦災孤児・女の子への衛生・月経支援と心のケア プロジェクト —

特定非営利活動法人
チャイルド・ファンド・ジャパン

戦禍の中で脅かされる、子どもたちの尊厳と心

2022年から4年以上も戦禍が続くウクライナでは、今なお、1000万人以上の人々が人道支援を必要としています。

戦争により物流は混乱し、物価は高騰。食料や衛生用品などの生活必需品を手に入れることも困難となっています。特に女の子にとって、生理用品は健康と尊厳を守るために欠かせないものですが、限られた収入の中では、食料や医薬品が優先され、後回しにされがちです。学校教育の中断などから、月経や衛生について正しい知識を学ぶ機会も失われています。

また、現在大きな課題となっているのが、子どもたちの「心の傷」です。爆撃音への恐怖、いつ戦争が終わるか分からない不安、地雷の危険——子どもたちには、安心できる場所で、日々の恐怖とストレスを軽減していく支援が必要とされています。



爆撃で破壊された建物

衛生支援と心のケアで、子どもたちの尊厳と心を守る

チャイルド・ファンドは、2022年の戦争開始以来、ウクライナおよび隣国モルドバにおいて、国内外で避難をする子どもたちや家族への緊急支援を続けています。今回のプロジェクトでは、首都キーウにおいて、戦災孤児や女の子たちを含む子どもたち約200人を対象に、支援を行います。

1. 衛生用品の提供と、女の子への月経支援

子どもたちへ石けんやシャンプー、歯ブラシなど、衛生を保つためのセットを届けます。女の子には、生理用品や月経管理帳を含む専用セットを配布し、月経や衛生について学ぶセッションも実施します。

2. 心のケアと、子どもたちのための安全な居場所づくり

避難施設内に、子どもが安心して過ごせる「子どもにやさしいスペース」を設置・改修します。アートや創作活動、スポーツ、遊びを通じて、感情を表現し、心を少しずつ解放していくレクリエーション活動を行います。

プロジェクトを通して、子どもたちが再び「安心できる時間」を取り戻し、尊厳と心の健康を守りながら、未来への希望を描けるようにしていきます。



心のケアの活動の様子